

医学研究実施に関するお知らせ

金沢医科大学病院

リハビリテーションセンター 中木哲也

私たちは以下の医学研究を実施しています。研究概要は次のとおりです。

研究課題名 本邦集中治療病室における人工呼吸患者の離床の安全性に関する検討

研究の意義・目的

人工呼吸療法は ICU 入室患者の約 2 割で実施されており、欠かすことのできない治療手段ですが、人工呼吸中の安静が合併症の原因となり、退院後社会復帰を遅らせている現状が報告されています。

近年、ICU の人工呼吸器患者を対象に早期離床をすすめるリハビリテーションが行われ、海外においてはその安全性や有効性を示した多施設比較研究の結果が数多く報告がされていますが、本邦において早期離床の安全性や有効性はいまだ十分に評価されていません。

本研究の目的は、ICU の人工呼吸患者に対し日常的に早期離床を行っている施設において、標準的な方法での早期離床が安全に施行できているかを明らかにすることです。

研究の対象者・研究期間

本研究では、200 名（うち当院参加者 10 名程度）に参加していただく予定です。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2018 年 3 月 31 日まで

調査期間・対象者：2017 年 10 月 18 日～倫理審査委員会承認日までに当院 ICU に入室し、48 時間以上の人工呼吸管理を行っていた患者さん 10 名程度

研究の方法・研究に用いる情報の種類

この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記期間中に得られたカルテ情報を本研究のために使用させていただきます。

研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

【収集するデータ】年齢、性別、ICU 入室に至った診断名、既往歴、重症度、呼吸関連、循環動態、鎮静・意識、せん妄、疼痛等

外部への資料・情報の提供

本研究の代表機関は、昭和大学医学部です。当院は研究参加施設としてデータ提供し、本研究に参加します。本研究で得られたデータやその他の検査情報は、全て「連結不可能匿名化」と言って、個人が特定できる情報（氏名など）の代わりに新しく符号や番号を付けて、個人が特定できない形にして解析を行います。これに関わる個人情報、個人情報管理者によって厳重に管理されます。研究成果の発表時を含め、外部に公開されることは一切ありません。

研究機関 金沢医科大学病院

研究に関するお問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究の対象となっている患者さんで、この研究への参加を希望されない場合には、下記の当院担当者までお知らせください。

お問い合わせ先

金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 中木 哲也
住所：〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1
電話：076-286-2211 （内線 5291）

当院研究責任者

金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 中木 哲也

研究代表者

研究代表者：昭和大学医学部麻酔科学教室 小谷 透

研究組織・参加施設

早期離床推進研究会 世話人会名簿 （2016年11月現在）
事務局：昭和大学医学部麻酔科学教室（東京都品川区旗の台1丁目5-8）
代表世話人：小谷 透 （昭和大学医学部）
副代表世話人：曷川 元 （一般社団法人 日本離床研究会）
堀部達也（東京女子医科大学）・佐藤和弘（長岡赤十字病院）・劉 啓文（前橋赤十字病院）・谷 崇史（石巻赤十字病院）・猪飼哲夫（東京女子医科大学）・影近謙治（金沢医科大学病院）・森田恭成（名古屋医療センター）・原田博雅（八尾徳洲会病院）・富岡正雄（三島救命センター）・石井賢造（福山市民病院）・太田浩平（広島大学病院）・玉城正弘（豊見城中央病院）・安村大拙（那覇市立病院）・監事 神津 玲（長崎大学）
工藤 弦（東京女子医科大学）・嶋田正子（東京女子医科大学）・遠藤 聡（石巻赤十字病院）・寺澤知哲（長岡赤十字病院）・大竹弘哲（前橋赤十字病院）・阿部絵美（前橋赤十字病院）・大崎 仁（前橋赤十字病院）・中木哲也（金沢医科大学病院）
村谷俊幸（金沢医科大学病院）・大野美香（名古屋医療センター）・渡辺伸一（名古屋医療センター）・村中烈子（八尾徳洲会病院）・難波智矢（八尾徳洲会病院）・森川明（三島救命センター）・對東俊介（広島大学病院）・高橋 陽（豊見城中央病院）・大城和也（豊見城中央病院）・飯田祥（日本離床研究会）